

伝統工芸文化継承・産業振興プログラム（令和7年度～9年度）

未来像

商品開発や販路開拓の取組みをより一層進め、生産額の回復を図り、持続的に高度で希少な技術が継承されている。

区分	現状・課題	支援策			未来像
		R7	R8	R9	
①人材育成・技術継承	・事業所 S62:868 ⇒ R3:365⇒R5:274 ・従業者 S63:4,971⇒R3:1,296⇒R5:1,235 ・企画力・販売力向上のノウハウが不足 ・伝統工芸産業の認知度が低い ・技術習得までの時間・費用の負担が大きい ・職場環境が今の時代に対応していない	◆ 産地事業者等の企画・提案力の向上（プロデューサー人材の育成） ◆ 伝統工芸品や職人の魅力発信、青少年の学習や体験の機会の確保 ◆ 高度な技術・技法の後世への継承支援 ◆ 伝統工芸産地支援員の配置など組織・相談体制の充実 ◆ 就業・職場環境の改善支援			・職人希望者や後継者が増加 ・商品の企画・提案力が高い人材が育成され産地の活性化に寄与する ・知見・経験を有する専門家とのネットワークが構築され産地に最新のトレンドやノウハウが常にアップデートされる体制が整う
②新商品開発	・販売額 H2:433⇒ R3:105⇒R5:109億円 ・従来の主力商品の需要低迷 ・消費者ニーズに合った商品開発が不十分 ・異業種・異分野への進出の動きあり	◆ 伝統工芸と異業種とのコラボレーションによる新商品開発・新ブランド創出 ◆ 事業者や産地組合が取組む新商品開発の資金的支援 ◆ 県総合デザインセンター等による技術的・専門的助言、共同研究			・消費者ニーズに合った新たな商品やブランドが開発され売上が向上する ・異業種との連携や異分野への進出の動きが一層活発になり、伝統工芸品や伝統技術の活用範囲が広がる
③販路開拓・魅力発信	・記念品・贈答品需要の低迷 ・新たな販売チャネルの獲得が必要 ・ECサイトでの売上が増加傾向 ・EC市場や海外展開のノウハウが不足 ・伝統工芸の魅力発信が不十分	◆ 大都市でのマッチング支援や、国内外バイヤーとのネットワークの構築 ◆ 首都圏等での魅力発信 ◆ 他の分野（食等）との連携による販路開拓 ◆ EC市場での販路開拓支援 ◆ 伝統工芸品や職人の動画配信、海外インフルエンサーによる配信 ◆ 国内外での見本市への出展支援や伝統工芸品展の開催等 ◆ 伝統工芸品の生産現場を見学・体験できる産業観光の受入環境整備の促進			・実店舗、ECサイト、海外市場、異業種の事業者など多様な販路を獲得し、特に市場規模の大きい実店舗やECサイトで取り扱われている ・県民や国内外の消費者に認知され愛用されている ・産業観光の環境整備により、県内各地の産地が多く観光客で賑わっている

とやま伝統産業プロデューサー人材育成プログラムの開催(R7⑦350万円)

伝統産業の人手不足の解消や商品等のプロデュース力の向上を図るため、とやま伝統産業プロデューサー人材育成プログラム（専門家による講義や工房視察、交流研修会等）を開催